

■市花 オモイガワザクラ

■市木 シラカシ

■市鳥 セグロセキレイ

市町類型	4-1	R2年国調人口	166,666 人
財政力指数(R4~R6平均)	0.936	住民基本台帳 (R7.3.31)	人口 166,805 人
職員数(R7.4.1)	1,264 人		世帯数 77,860 世帯
職員 1 人当り人口	131 人	面積(km ²)	171. 75

■施政方針

首都圏の中でも、有数の自然環境の豊かさと、交通利便性の高さにより、これまで増加傾向を保ってきた小山市の人口も、令和2年度をピークに減少局面に移行しています。

このような中、従来型の行政主導による開発は大きな負担を伴い、また、自然環境への配慮が十分でない開発は、良好な住環境に悪影響を及ぼしかねないため、これからは、優れた地域資源を生かし、持続可能性に配慮した長期的な視点での行政運営やまちづくりが重要となります。

そのようなことから、本市は令和5年度にゼロカーボン＆ネイチャーポジティブ宣言を行い、令和6年度には市の30年後のあるべき姿を描いた「田園環境都市おやまビジョン」を策定しました。このビジョンはすべての市民のウェルビーイング(より良い暮らし)の実現を最大の目標と掲げ、風土性調査により市内11地区の課題を抽出し、その課題解決のために地域に向き合い寄り添ったまちづくりの推進を基本に据え、市民の皆様と学びあい、対話を重ねながら策定してまいりました。

本ビジョンが描く30年後の小山市のあるべき姿の実現をめざし、少子高齢化・人口減少へのさらなる対応に加え、多発する自然災害や国際情勢の変動等、日々変化する社会に対応するために、多くの市民と対話を積み重ね、協働し、継続的に実施してきた各種事業に以下の重要事業を加え、市民一人ひとりのウェルビーイングを最大の目的とした持続可能なまちづくりを推進します。

■重要事業

事業名	予算額(千円)	事業の概要
「田園環境都市おやま」の推進	46,117	・田園環境都市おやまビジョンの推進 ・第9次小山市総合計画の策定 ・都市と緑のマスタープラン地域別構想の策定 ・ウォークアブルなまちづくりの推進 ・市民との対話によるまちづくりの推進
次世代に向けた環境問題への対応	157,740	・脱炭素地域づくりの推進 ・生物多様性の推進 ・おやまの森・里づくりの推進 ・環境にやさしい農業の推進
こども・子育てへの支援拡充	1,575,498	・こどもまんなか社会の推進体制の構築 ・妊産婦等の相談支援 ・子育て世帯の訪問支援 ・産前・産後のサポート支援 ・妊産婦タクシー利用の助成 ・放課後こどもの居場所対策の推進

		・学童保育館・保育所の整備
社会基盤の整備	3,158,255	・市街地再開発事業の推進 ・小山駅東口駅前広場の再整備 ・新市民会館の整備 ・新小山市立博物館・間々田のじゃがまいた伝承館 複合施設の整備 ・サッカー場・弓道場・スケートボード場の整備 ・おーバスの拡充 ・公共施設の長寿命化の推進
安心・安全なまちづくり	2,686,060	・排水強化対策事業の推進 ・地域防災の強化 ・消防指令システム等の整備